**中文标题**

专业名称 日语

姓 名 王△△

指导教师 张〇〇

**摘 要**

中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。

中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。中文摘要300～400字左右。

**关键词：**关键词、关键词、关键词、关键词

**日本語の題目**

専攻　日本語

氏名　王△△

指導教師　張〇〇

**要　旨**

日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。

日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。日本語の要旨の見本です。

**キーワード：**見本、見本、見本、見本

**目次**

[**摘 要** I](#_Toc37970995)

[**要　旨** II](#_Toc37970996)

[**はじめに** 1](#_Toc37970997)

[**第一章　章見出し** 2](#_Toc37970998)

[**第一節　節見出し** 2](#_Toc37970999)

[**おわりに** 3](#_Toc37971000)

[**参考文献** 4](#_Toc37971001)

[謝辞 5](#_Toc37971002)

**はじめに**

本文の見本です。本文の見本です[[1]](#footnote-1)。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。

本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。

**第一章　章見出し**

**第一節　節見出し**

本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。

表1　表のタイトル

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。



図1　図のタイトル

**おわりに**

本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。本文の見本です。

**参考文献**

1. 安齋伸．奄美における移入宗教の受容[J]．「ソフィア：西洋文化ならびに東西文化交流の研究」．1978．vol.26(4)．pp.114-119
2. 貝原益軒．『養生訓・和俗童子訓』[M]．東京：原書房．1961．p.32
3. 土谷桃子．明治期における異文化受容の一例：採菊の西洋小説の翻案の場合[J]．「言語文化と日本語教育」．1993．vol.5．pp.1-10
4. 李明菲，許之所.語言博弈及会話策略的調整[J].武漢理工大学学報（社会科学版），2006，（10）：pp.761-763
5. 竺可桢．物候学[M]．北京：科学出版社，1973. pp.16-21
6. 環境庁編.環境白書・循環型社会白書.平成20年版,2008. http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/h20/index.html.(2010-03-18)

# 謝辞

謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。謝辞の見本です。

1. 脚注の見本です。 [↑](#footnote-ref-1)